

令和2年度豊田市外国人住民進路状況調査アンケート結果報告書

調査の概要

1 調査の目的

豊田市在住外国人を対象に、日本語能力、進路、仕事などの状況を統計的に把握し、日本語学習支援の方針検討をはじめ、多文化共生施策の基礎資料とします。

2 調査の方法

- (1) 調査対象：市内在住外国人で、18～25歳かつ、在留資格：永住者、定住者、永住者の配偶者等、日本人の配偶者等、の住民から抽出した950人
- (2) 抽出方法：無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、WEB調査による回答
- (4) 調査期間：令和3年1月20日（水）～令和3年2月11日（木）
- (5) 調査票の言語：ポルトガル語、中国語、英語【すべてに日本語（ふり仮名つき）対訳付き】

3 調査項目

本調査における調査項目は以下のとおりであり、調査票の設問の順番に記載しています。

- 回答者の属性に関するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6問
- 日本語能力に関するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1問
- 仕事に関するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6問

4 回収結果

- (1) 標本数 950人
- (2) 実対象者数 926人 標本数から未着（宛先不明で戻ってきたもの）を除いた数
- (3) 回収数 415票（紙221票、WEB194票）
- (4) 回収率 44.8%

5 比較調査

- (1) 外国人住民意識調査
文中やグラフ中の「外国人住民意識調査（R2）」は、市内在住外国人で18歳以上の方（特別永住者除く）を対象に令和2年度に実施した「第4回外国人住民意識調査」の調査結果を指します。
- (2) 市民意識調査
文中やグラフ中の「市民意識調査（R1）」は、令和元年7月末現在、市内在住3カ月以上の満18歳以上の方を対象に実施した「第22回市民意識調査」の調査結果を指します。

6 今回の調査で確認できた主な傾向と内容

- (1) 日本語能力について
本調査の対象者層（18～25歳かつ、在留資格：永住者、定住者、永住者配偶者、日本人配偶者）における日本語能力は、他の年齢層等（外国人住民意識調査（R2））と比較して、相対的に高い傾向が見られます。
 - ①「日常会話以上の日本語が話せる外国人住民の割合※」で見ると、65.1%となっており、外国人住民意識調査（R2）を19.2ポイント上回っています。
 - ②外国人住民意識調査（R2）と比べて、「聞く」「話す」「読む」「書く」の全ての能力で「日本人とおなじくらいできる」の割合が30ポイント以上高くなっています。また、日本語能力総合点でも「16点以上」が47.7%で、同調査よりも34.8ポイント高くなっています。
 - ③中卒以上では、日本語能力が高い「16点以上」の割合が最も高くなっているものの、全体として「日本国内の学校卒業」と「豊田市内の学校卒業」での比較では大きな違いは見られませんが、中学校卒業では市内中学校卒で「16点以上」の割合が国内よりわずかに高い傾

向があることがわかりました（国内 62.8% 市内 66.7%）。

※「日常会話以上の日本語が話せる外国人住民の割合」とは、「質問に文で答えられる。簡単な感想を述べられる」「相手に説明を求めたり質問ができる。自分の経験やできごとなど、まとまった話ができる」「日本人と同じくらいできる」の回答割合を合わせたもの。

(2) 最終学歴と年収との相関について

年収を最終学歴別にみると、「小学校卒業」や「外国人学校卒業」では「100万円未満」が約4割で、他の学歴より高い割合となっています。また、年収を就業形態別にみると、正規雇用では「200万円以上 300万円未満」が37.7%で最も高く、非正規雇用では「100万円未満」が最も高く、正規雇用と非正規雇用とによって年収に明らかな差が見られる結果となっています。

(3) 希望職種への就職について

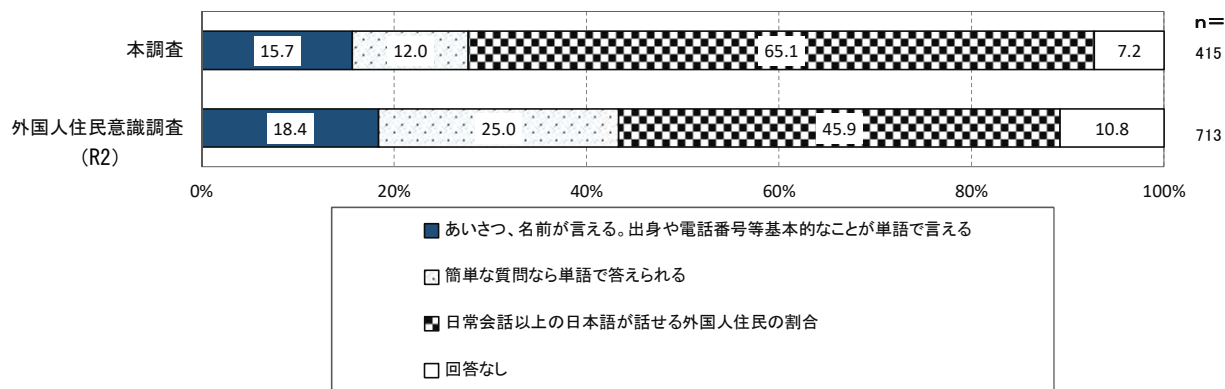
自分の望む職種に就けていると回答した割合が36.9%である一方、就けていないとの回答は51.8%となっています。就けていないと回答した層のうち、その要因としては、「日本語能力が低いから」が36.7%で最も高く、自己評価における日本語能力と就職の相関について認識があることが読み取れる結果となっています。

アンケート分析結果の抜粋（上記6関連）

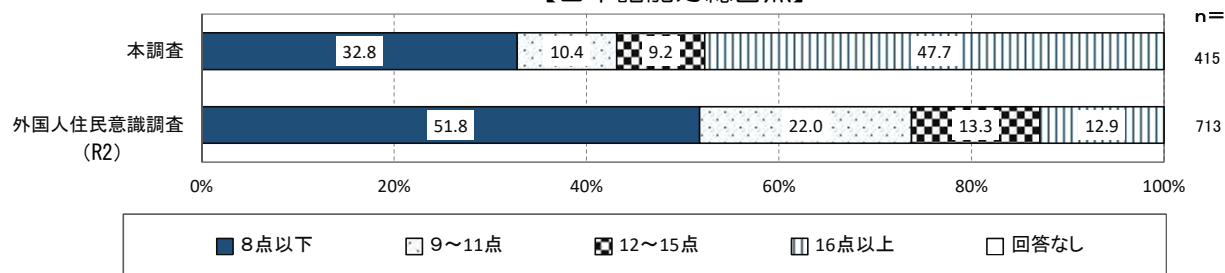
1 日本語能力の現状

問 あなたの日本語能力について教えてください。（単数回答）

【日常会話以上の日本語が話せる外国人住民の割合】

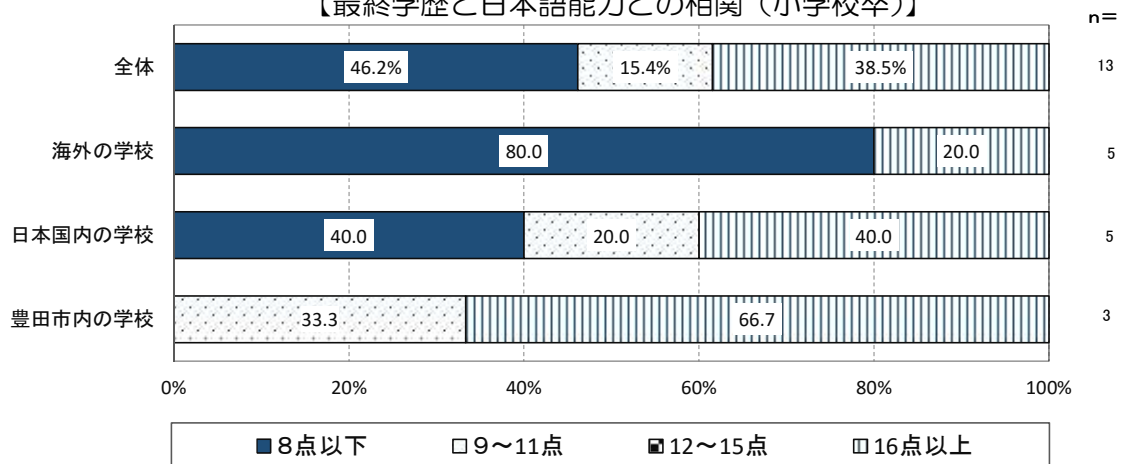


【日本語能力総合点】



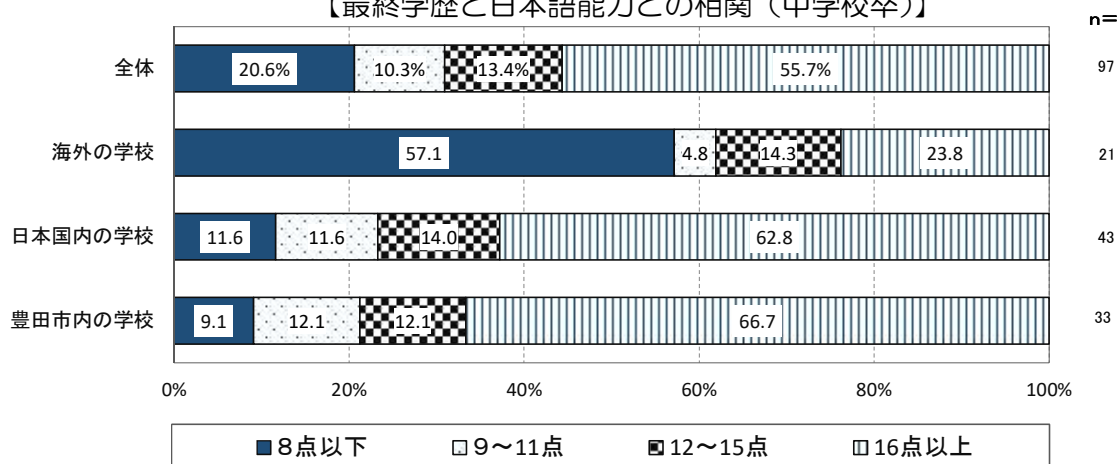
2 最終学歴と日本語能力との相関

【最終学歴と日本語能力との相関（小学校卒）】

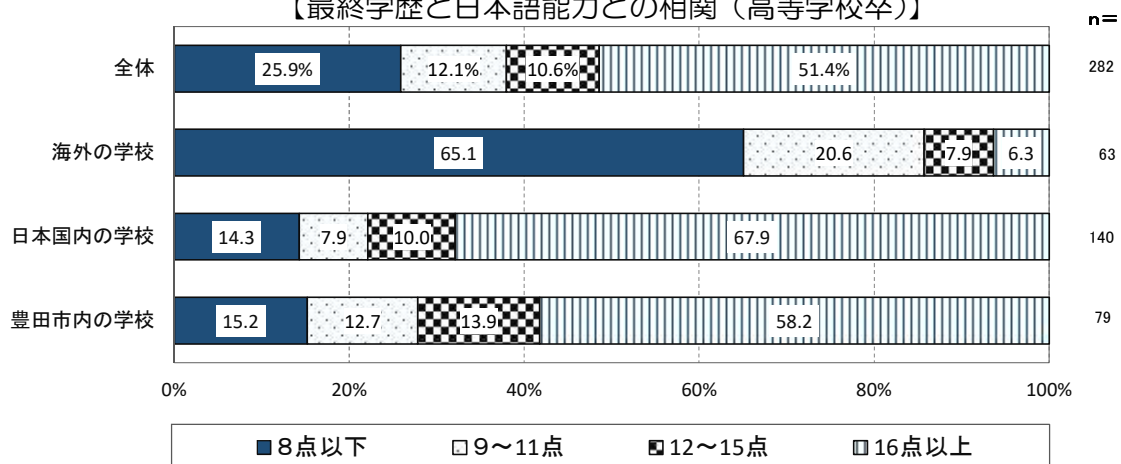


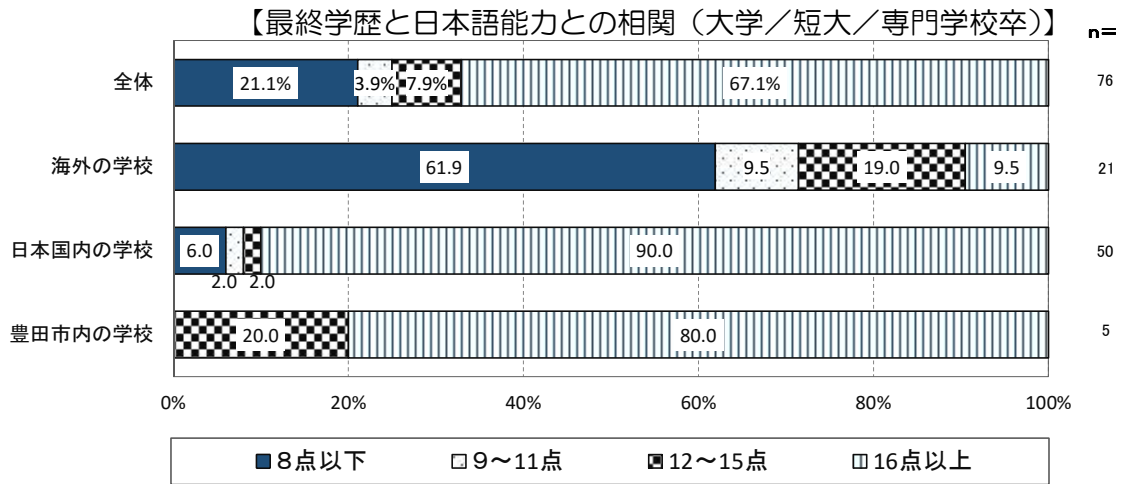
(※n数が10以下であるカテゴリは参考値)

【最終学歴と日本語能力との相関（中学校卒）】

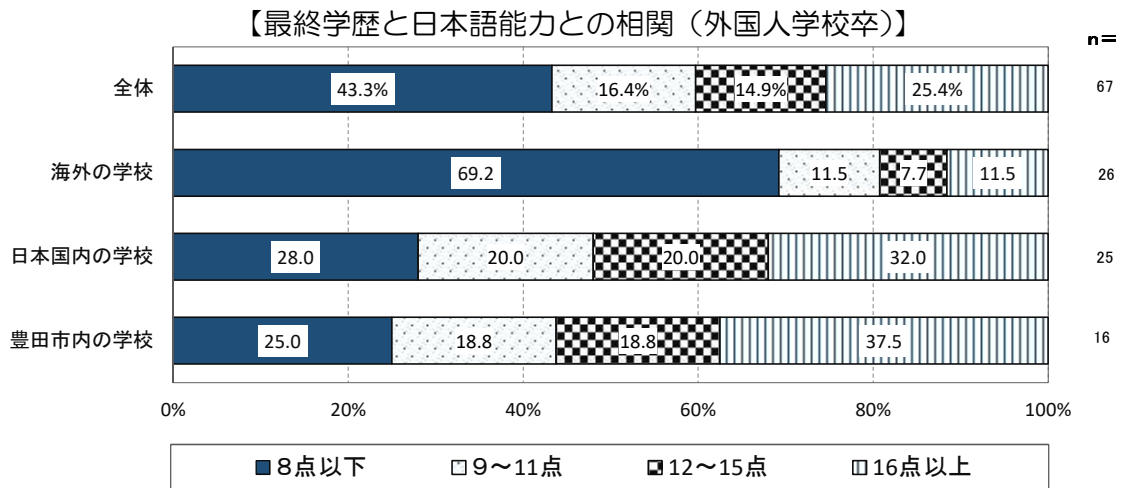


【最終学歴と日本語能力との相関（高等学校卒）】

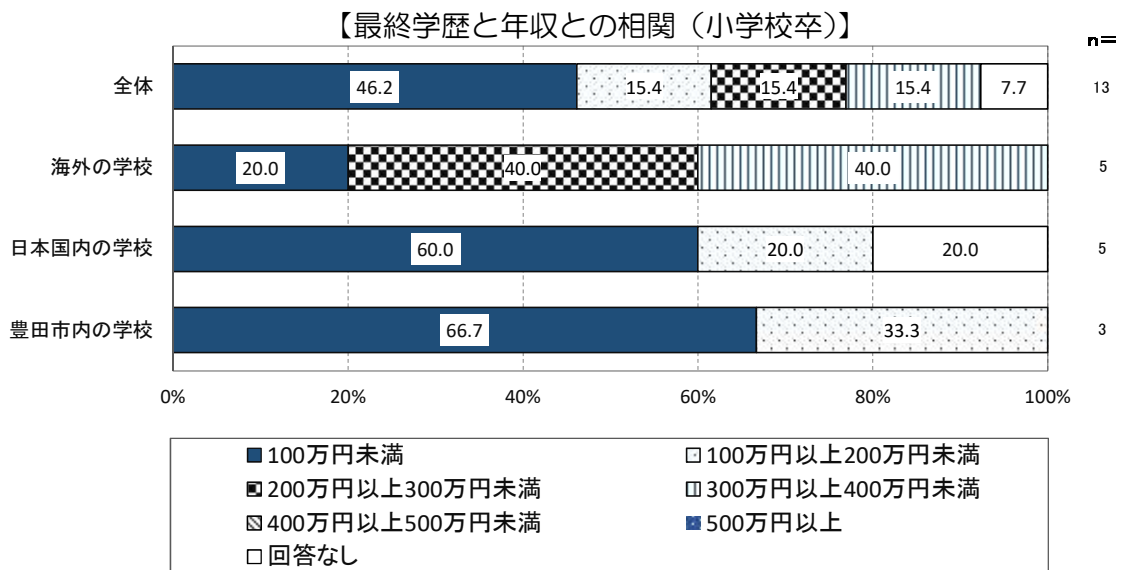




(※n数が10以下であるカテゴリは参考値)

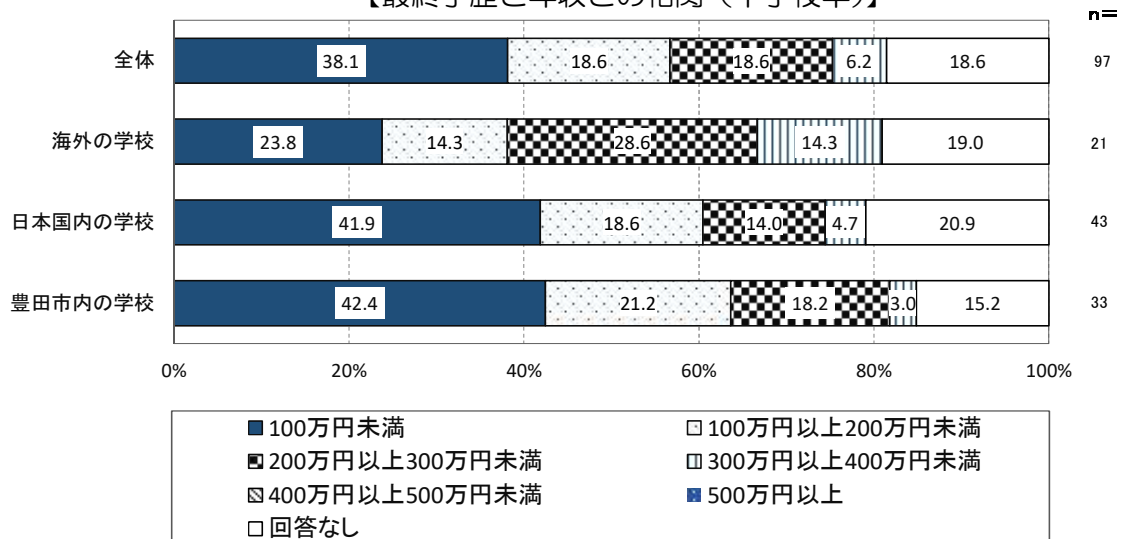


3 最終学歴と年収との相関について

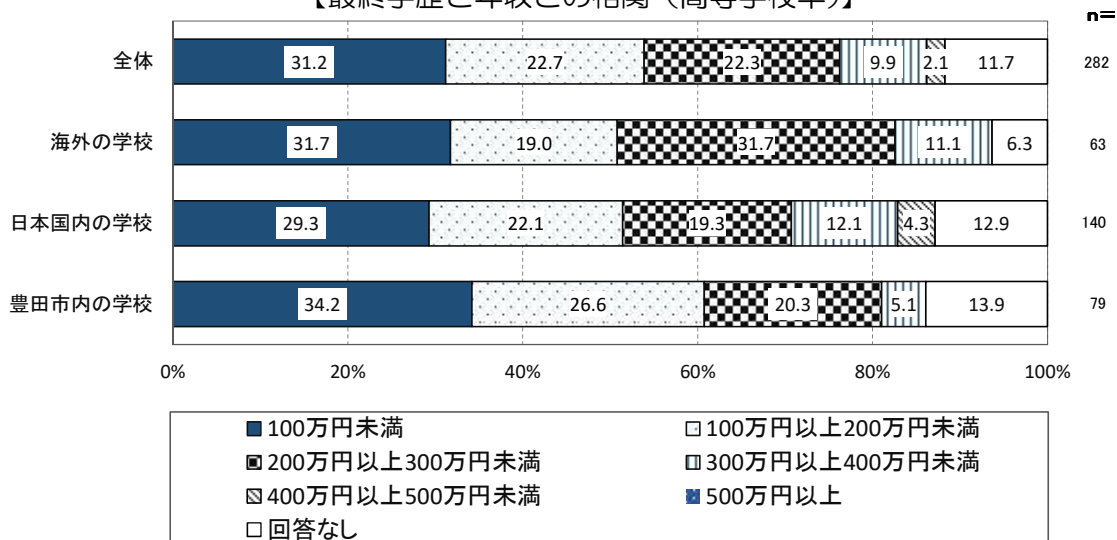


(※n数が10以下であるカテゴリは参考値)

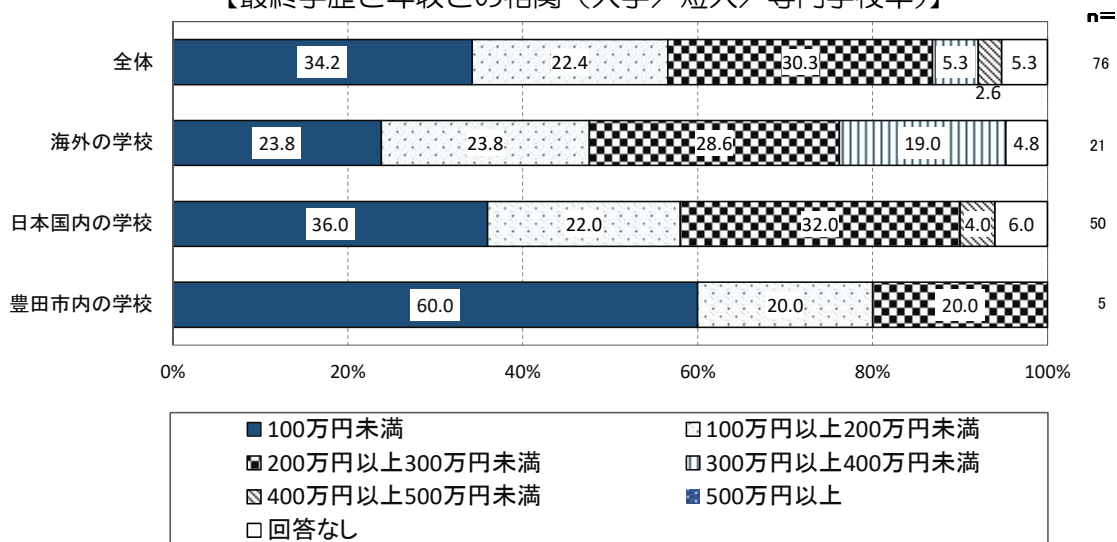
【最終学歴と年収との相関（中学校卒）】



【最終学歴と年収との相関（高等学校卒）】

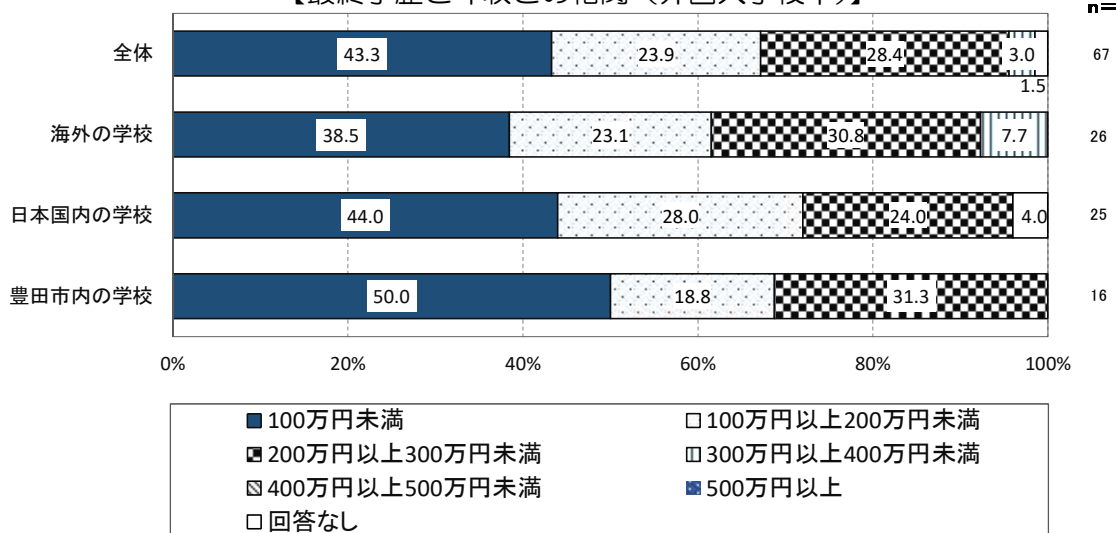


【最終学歴と年収との相関（大学／短大／専門学校卒）】

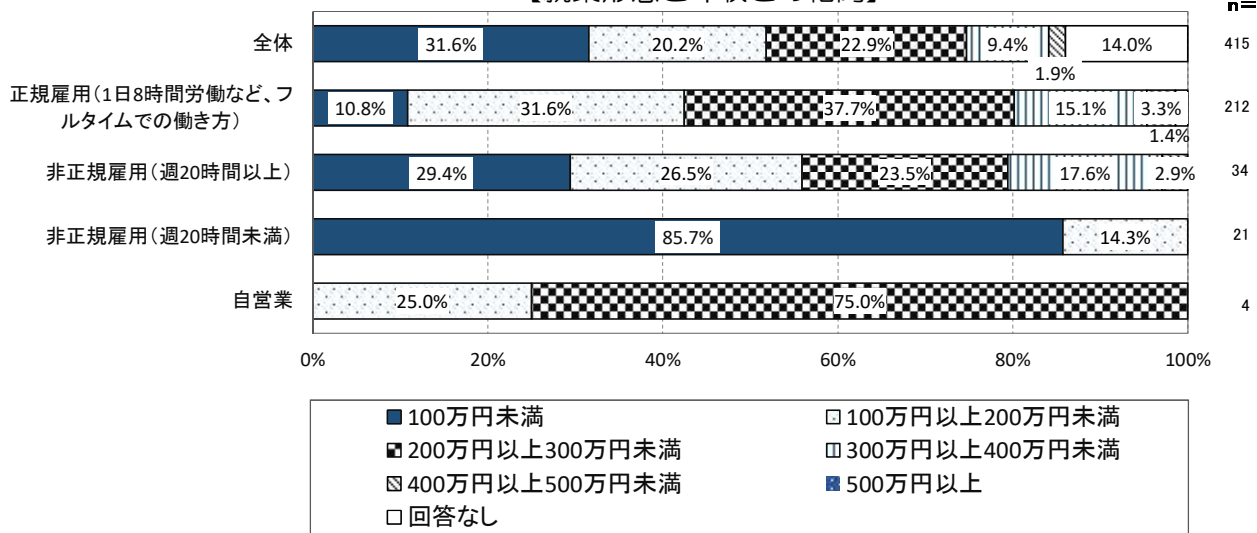


(※n数が10以下であるカテゴリは参考値)

【最終学歴と年収との相関（外国人学校卒）】



【就業形態と年収との相関】



(※n数が10以下であるカテゴリは参考値)

4 希望職種への就職について

